



やまゆり



2004年(平成16年)7月発行

ボーイスカウト神奈川

109



年次総会での富士スカウト紹介(左から)

木村友則スカウト
(鎌倉第9団)

松下 賢スカウト
(横浜第34団)

平澤 達也スカウト
(横浜第34団)

鈴木 健史スカウト
(平塚第3団)

平成16年度重点目標

すべての団が「+5、0」を達成しよう！
地域に根ざした活動を展開しよう！

Go! Scouting

年次総会

平成 16 年 4 月 25 日(日)
茅ヶ崎市コミュニティーホールにて



平成 16 年度年次総会が出席者数 159 名を迎えて開催されました。議長団として

- 議長 細住氏 (大磯 1 团团委員長)
- 副議長 岸田氏 (大磯 8 团团委員長)
- 副議長 三木氏 (綾瀬第 2 团团委員長) の 3 名が
選出・任命され定刻に開会されました。

議事は以下の通り

第 1 号議案 平成 15 年度事業報告および収支決算報告に関すること並びに会計監査の報告 可決

第 2 号議案 平成 16 年度事業計画案及び収支予算案に関すること 可決

予算書フォームの「支出の部」を参加費・県連費・補助金などと細分化し明確化した

第 3 号議案 神奈川連盟規約及び地区規定の改定に関すること

佐野理事長より改革の目的を説明

時代に対応した組織の確立と組織の活性化

情報の的確・迅速な伝達・公開・透明性

責任体制の明確化

採決は出席者の 3 分の 2 以上の同意が必要であるが、圧倒的多数で可決

第 4 号議案 平成 16 年度県連盟役員を選出

中川県コミッショナーより常任理事 13 名、監事 2 名、名誉会議議員 6 名を提案 可決

その他 「団担当コミッショナーについての対応」について質問

神奈川連盟としては 7 月 1 日より導入

内容については「団担当コミッショナー説明会」を地区毎に開催し、方針説明を行う

平成 16 年度神奈川連盟表彰

年次総会第一部において以下の方々を神奈川連盟表彰を授章されました。おめでとうございます。

県連特別有功章 (2 名) 敬称略

川崎地区 花形 勝

横浜地区 吉田 昌美

県連有功章 (45 名) 敬称略

川崎地区 井上 景、菅野 秀美、堀内 敬一、
長田 均等、内田 治彦

横浜地区 吉田 信幸、鎌田 誠一、生嶋 光則、
三戸 稔郎、(故)竹下 公代

横浜中央地区 笠原 良典、高岡 泰志、秋本 ひろみ、須藤 千秋

横浜南央地区 岡村 悟、山片 悟、乾 英昭、儀副 清、佐藤 政夫、
木内 正典、小宮山 優則、

横浜みなと地区 大谷 賢治、鈴木 利昭、吉田 栄

横須賀地区 岡 秀昭、助川 智之、清水 健一

湘南地区 永田 清、内山 政之、小川 勝一、吉川 よし子

江南地区 三簾 嘉昭、山本 均、舛水 政美、鈴木 賢一郎、
小山田 君子、諏訪部 俊明、鈴木 よしえ、
藤田 忠義、丸山 三千男

県央地区 岩壁 孝夫、須田 清一郎、望月 敬子、多田 勲

湘北地区 (故)若宮 国興



新しい組織体系

組織改革特別委員会での検討結果を踏まえ、平成 16 年度より以下の 3 委員会構成にて運営されます。

旧委員会名	新委員会名
組織・拡張	総務
財政	
広報	
IT 活用	プログラム
進歩	
野営・行事	
国際	
緑化推進	指導者
健康・安全	
指導者養成	

平成16年度神奈川連盟事業計画(概略)

	総務委員会	プログラム委員会	指導者委員会	事務局・その他
4月	やまゆり108号発行	29(祝)緑の羽根募金		25(日)理事会(総会)
5月		3(月)横浜みなと祭り奉仕 5(水)フィリピン奉仕	3(月)~6(木) CS課程第94期 VS課程第7期 キャンプリーダー-第22期 3(月)~5(水) 団運営研修所19期	20(木)理事会
6月		6(日)県ゆうあいピック奉仕	3(木)~6(日) BVS課程第27期 BS課程第92期	10(木)事務長連絡会
7月	やまゆり109号発行	11(日)緑化推進事業 17(土)~8/4(水)スカウト海外派遣		15(木)理事会
8月			28(土)~29(日) 指導者講習会	2(月)-7(土) 第6回日本ハンチャー大会
9月	19(日)キックポート 維持財団ゴルフ奉仕	20(月)スカウトの日	23(木)~26(日) CS課程第95期 RS課程関東第2期	16(木)理事会 30(木)事務長連絡会
10月	やまゆり110号発行	18(月)-19(火)JOTI 23(土)-24(日)県スカウトフォーラム	8(金)~11(月) BVS課程第28期 BS課程第93期	2(土)+5・0戦略会議
11月	23(祝)団運営研究集会	20(土)-21(日)日連国際活動セミナー		18(木)理事会
12月		12(日)国際化推進セミナー		9(木)事務長連絡会
1月	8(土)登録説明会 やまゆり111号発行	23(日)予定 災害ボランティア研究会		8(土)登録説明会 22(土)-23(日)理事会
2月				
3月	13(日)登録受付	12(土)プロジェクト発表会 富士スカウト顕彰・表敬		13(日)登録受付業務 17(木)理事会



「世界スカウト運動創始 100 周年記念事業」について

100 周年とは

1907 年 8 月、ベーデンパウエルがイギリスのブラウンシー島で 20 人の少年たちを導いて実験キャンプを行いました。この経験から「スカウティング・フォア・ボーイズ」を出版し、そして、今私たちが参加しているスカウト運動が発足しました。

2007 年はスカウト運動創始 100 周年を迎えます。この年を中心に記念事業が展開されます。

100 周年記念事業の目的

世界のスカウト組織挙げて行う記念事業であり、記念事業の目的を次のように提唱しています。

- ・ スカウト運動の 100 周年を祝う
- ・ 世界のスカウト運動の結束を示す
- ・ スカウト運動の質を改善し促進する
- ・ より平和な世界の促進をする
- ・ スカウト運動の素晴らしい価値を示す
- ・ 楽しく有益な経験を提供する
- ・ 自然や環境への関わりを示す
- ・ すべてのコミュニティに対する関心を示す

テーマ・期間

世界スカウト機構が示す 100 周年のテーマは、「2007 : One World One Promise」です。日本連盟では「2007 : ひとつの世界 ひとつのちかい」と決定しました。

2004 年の年次全国会議で佐波理事長から 100 周年記念事業の開始を宣言し、2004 ~ 2007 年度を 100 周年事業の期間として以下の記念事業を行います。

全国で実施すること、県連や団で実施すること

世界スカウト機構が提唱する事業

- ・ 世界共通デザイン記章 (ワッペン) の着用
- ・ 全世界で取組む 100 周年記念事業の参加実施
- ・ 日本連盟が企画し実施する事業 (検討中を含む)
- ・ ステップアップ 100 運動の開始
- ・ ブラウンシー島再現キャンプ脚本の提供
- ・ 記念レセプション
- ・ 全国自転車キャラバン など

県連・団で実施するもの

「全国の各隊・団の活性化」を基本コンセプトに各隊・団で 100 周年にふさわしい諸活動が自主的に実施展開されることを期待します。



平成 16 年度神奈川連盟フィルモント派遣

今年もボーイスカウトアメリカ連盟が運営するニューメキシコ州北部のフィルモント・スカウト・ランチへ神奈川連盟より 10 名のスカウトが挑戦します。

ロッキー山脈の標高 2000m ~ 3792m におよぶ山岳 & 高原地帯を 12 日間にわたり各自 20kg を超える装備を背負って歩きつづけ、移動キャンプを行います。もちろんクルーのチームワークも重要です。

トレールの途中では、丸太のぼり、壁面のぼり、ロック・クライミング、フライ・フィッシング、先住民族(インディアン)の遺跡探索、砂金取り、鉱山跡地の研究、西部開拓の体験学習、乗馬トレッキング... など(毎年変わる)が行われ貴重な体験をすることでしょう。

また、フィルモント・スカウト・ランチのスタッフや他スカウトとの交流をはじめ、ホームステイも予定されており、国際交流も体験することでしょう。

今号では派遣隊事前訓練の様子をクルーリーダーの石野スカウトと、サブリーダーの杉崎スカウト兩名からのレポートから拝見してみましょう。

アメリカ連盟フィルモント・スカウト・ランチの URL

<http://www.philmont.com/site/home.php?page=site/home.php>

フィルモントへの抱負

クルーリーダー 石野 隆之

この派遣が自分にとって、クルーのメンバー全員にとって、人生の大きな節目になるだろう...

「Philmont」(フィルモント)初めてその話を聞いた時はただただその雄大な自然に胸を躍らせ色々な想像を膨らませていた。今でもその気持ちが僕をフィルモントへ向けて動かしている。

フィルモントではたくさんの事を学びたい。ガイドブックの一説にこんな一文があった「予想できない事を予想する...」僕はこれを身につけたいと思っている。とても難しいことだ、予想できないのに予想しなければならいなんて...でも実際フィルモントではこの力が求められるのだ。

事前の訓練、調査、面接のあったその日からフィルモント派遣がスタートしている。そしてアメリカでのトレイルが始まると、クルーリーダーとしてのリーダーシップが求められるようになる。僕は、今までの事前訓練、メンバーとのコミュニケーションや一緒に過ごした時間が、トレイルで発揮できるようにまとめていきたい。アメリカという広大な土地や自然はきっと厳しいだろう。でもクルーのみんなと「楽しむ」という気持ちを忘れないようにしたい。

クルーリーダーとして自信があるわけではない。しかし、重要な仕事であることは認識している。だからこそ失敗を恐れずに勇気を持って自分の役割を果たしていきたいと思う。



左から二人目が杉崎サブリーダー 檜洞丸青ヶ岳山荘にて



座っているのが石野クルーリーダー 松田駅にて

<スケジュール&派遣隊員名簿>

日本時間	USA	
日付	時差15	行程
7月19日	18日	準備日
7月20日	19日	成田 ダラス アルパカーキー
7月21日	20日	休息 時差調整
7月22日	21日	アルパカーキーで観光 事前準備
7月23日	22日	午後からフィルモントへ入り
7月24日	23日	フィルモント 準備
7月25日	24日	トレール出発
		↑↓
8月4日	3日	トレール終了
8月5日	4日	ロスへ移動 ホテルで休息
8月6日	5日	ドジャースタジアム
8月7日	6日	ロス観光 夕方は評価会
8月8日	7日	航空機で日本へ 8日午後成田着

最後の事前訓練「丹沢縦走」を終えて

サブリーダー 杉崎 太一

丹沢縦走では、たくさん学ぶ事がありました。その中でも一番は『チームワーク』です。理由は、みんなでの会話が多くなったことです。次にみんなを気づかって掛け声が多くなったことです。これは、登山中にメンバーの誰かが疲れている時に「ファイター！！・がんばれ！！」などと自然に声を出して励ましている事が多くなったことです。掛け声をかけられると、疲れていてもがんばれる気にもなるし、チームワークも向上すると思うからすごくいい事だと思いました。

他には、蛭が岳直下の鞍部で起きた可児スカウトのアクシデントの時です。可児スカウトが落ちた場所は、かなり危ない所でした。可児スカウトがひっかかった木が無かったらと思うと「ぞっと」するけれど、クルーの対応に感動しました。石野クルーリーダーは一番先に行動し「怪我をしていないか？」の確認をしていました。

佐々木スカウトは無くしてしまったメガネを探してくれました。かなり足場の悪い場所だったけれど、最後まで探し続けてすごいなと思いました。

毎回寝る前に、その日の行動をクルーメンバーとフィードバックしたことで、コミュニケーションや信頼関係が築けてよかったと思います。

この最高の『チームワーク』にてフィルモントへ行ってきます。

リーダー

高森 茂範	横浜みなと	横浜第34団
松原 洋	横浜南央	横浜115団

スカウト

田部井 啓	横浜みなと	横浜第114団VS
小谷 来太	江南	平塚第3団VS
横溝 涼	江南	平塚第4団VS
三杉 智也	江南	平塚第5団VS
佐々木 祐輝	江南	二宮第1団VS
椎野 裕太	江南	二宮第1団VS
山室 佑太	江南	二宮第1団VS
可児 智	小田原	小田原第10団VS
石野 隆之	小田原	小田原第10団VS
杉崎 太一	小田原	小田原第2団VS

フィルモント派遣隊は準備を大切にします！

「そなえよつねに」 派遣隊長 高森 茂範

7月20日～8月8日 目的地はUSAニューメキシコ州 Philmont Scut Ranch の2000m～4000mの山岳部を12日間キャンプしながら移動します。毎日楽しいプログラムが待っています。

人間の70%は水で出来ています。細胞も新陳代謝しながら入れ替わっていますから、半年前の私と今の私とでは細胞の中身がほとんど違っています。人は常に進歩していく生き物です。

昨年12月から6ヶ月間の準備訓練を終えて、フィルモントに必要な技能・知識を野外活動の中で体験してきました。そしてスカウト達が多くのごとに気づき、自分たちで考え行動するグループとなりました。クルーの人間関係も良好です。私たちの守るべき合い言葉は「あきらめない」と決まりました。どんなことに出会っても自分たちで解決していきます。そして「きまりを守り楽しく安全に活動すること」をグループの規範としました。それをフルバリュウコントラクトとって、お互いを尊重しながらお互いの目的を達成するために合意した内容です。

準備をすることはとても根気のいる仕事です。しかしそこをしっかりとやった活動は実りの多いものになります。クルーリーダーを中心にそれぞれの役割を果たしてフィルモントのハイアドベンチャーに挑戦してきます。このグループはかなり、高度な課題も達成できることと思います。私はアドバイザーとしてスカウト一人一人のプロセス(心の動きや活動の内容)を大切にして派遣の目的達成に努力していきます。

帰国したらフィルモントのことをみなさんに報告しますので楽しみにしてください。

行事報告

緑化推進事業「神奈川の森づくり」今年も実施

神奈川連盟 50 周年記念事業として植林を行ったケヤキやコナラ・ブナなど 1500 本(面積 0.5 畝)において、県央・湘北・小田原地区が本年度推進地区として総勢 400 名を越えるスカウトやリーダーたちが下草刈り作業を行いました。

急な斜面で下刈りに汗を流しているとき、大きな雨雲がほぼ同じ高さに見え、やがて大粒の雨と突風に雷が参加者を襲う！一面に濁流が流れ、自然の恐ろしさを感じながら帰路につきました。

大きなケガも無く無事終わりました。



「チビリンピック」奉仕 横浜地区&県央地区 県央地区野営行事委員長 浅野 隆一

チビリンピックは小学生スポーツの祭典として 1979 年から続いている大会です。カブスカウトの奉仕は 1999 年から始まり、開会式での大会旗の入場行進と掲揚、選手団のプラカードの保持を担当します。さらに今年は、10 名のスカウトがサッカー教室のボールボーイの依頼を受け、雨の中グラウンドの端に立ち約 1 時間がんばりました。

ゲストに來られた高橋尚子さんと一緒に彼女の誕生日ケーキを全員で一緒に食べました。現在この奉仕活動は横浜地区と県央地区が担当しています。



「ウッドバッジ研修所」修了報告

CS 課程神奈川	第 9 4 期	修了者 4 4 名	5 月 3 ~ 6 日	日本連盟山中野営場
VS 課程神奈川	第 7 期	修了者 2 0 名	5 月 3 ~ 6 日	日本連盟山中野営場
キャンプリーダー研修会		修了者 1 3 名	5 月 3 ~ 6 日	日本連盟山中野営場
団運営研修所神奈川	第 1 9 期	修了者 3 0 名	5 月 3 ~ 5 日	川崎市立青少年の家
BVS 課程神奈川	第 2 7 期	修了者 2 0 名	6 月 3 ~ 6 日	日本連盟山中野営場
BS 課程神奈川	第 9 2 期	修了者 2 0 名	6 月 3 ~ 6 日	日本連盟山中野営場

ビーバースカウト課程に参加して

湘北地区厚木第 6 団 浅野 譲二

団委員長の「遊んできたら良いですよ」の言葉に送られて WB 研修所へ参加してきました。

「ピバピバピーバ、ピバピバピーバ」と大きな声で集合がかかりびっくり！おじさん、お姉さんが手をつなぎ「みんなで大きなわをつくろう」を唄い、初めてなので戸惑いもありましたがフムフム... 集散の仕方ってこんなにあるのかと納得。

野外活動における基本動作はスカウト活動における「ちかい」「おきて」神(仏)へのつとめ、他の人へのつとめ、自分へのつとめ、あらためて講義を聴いて納得フムフム...



これからここで学んだ事をゆっくりじっくりと活動に活かしていこうと思います。

スタッフのみなさん有り難うございました。

地区からの便り

「ボーイスカウト一日体験」湘北地区 小倉広報・IT 委員長

2004年4月17日、厚木市森の里にあるNTT厚木研究開発センタ内で行われた「フェスティバル2004」のイベントの1つとして、「ボーイスカウト一日体験」が行われました。

このイベントは毎年行われているもので、湘北地区を代表して地元厚木市内の各団からリーダーやスカウトがスタッフとして参加しました。



「ボーイスカウト写真館」や「火起こし」「吹き矢」など、さまざまなプログラムが用意され、地区内のスカウトをはじめ、たくさんの子供さんや保護者の方が各プログラムに挑戦していました。

隊集会として参加したカブスカウト達は「ボーイスカウト1日体験」をはじめ、フワフワドームや施設内や最先端技術の見学、時折どこからともなく現れるピエロ（下写真の右端に注目!!）と一緒に遊んだりして楽しい1日を過ごしました。



GUAM 派遣を終えて 県央地区 GAT31 期副長 油科 智司

昨年4月より始まった県央地区 GAT31 期の訓練では、3月26日より16名のスカウトを率いて、GUAM へ向け出発しました。

前半の野営では現地のスカウトが利用しているというキャンプ場で、水道・トイレ・電気が無い場所でしたが、スカウトはそれぞれに、サイトを選び、設営して現地のスカウトとゲームをして遊んだり、なにに不自由することなく生活していました。

事前訓練の不安も吹き飛ばすかのような、スカウトの順応力には脅かされました。後半のホームステイでは、ホストの皆様の好意により、いろいろな体験をさせていただいたようで、スカウトの表情がとても充実感にあふれて印象的でした。



全員無事に帰国でき解散した時には、スカウト、スタッフ共に、本当に充実感が溢れていた様に感じました。次回はより多くのスカウトに同じような体験がしてもらえるように、この活動を続けていきたいと思ひます。